義務教育学校　黒島小中学校（黒島はまゆう学園）　令和元年６月６日（木）

文責：校長　惣田　正宏

ふるさと黒島！

いのちを見つめる校長講話をしました！

５月３０日、「いのちを見つめる校長講話」をしました。

まず、佐世保で起きた２つの事件で、「いのち」をおとした児童生徒に対して、ご冥福をお祈りするための黙祷を捧げました。

そして、この事件を決して忘れないことと、「いのちを大切にする」心をどうにかして伝えたいと思い話をしました。内容は、リオパラリンピック・東京パラリンピックのイメージ映像や金子みすゞの詩を引用しながら話をしました。伝えたかったことは、「障害のある方々が頑張るのではなく、その良さやできないことを認め合い、当たり前のように共に生きる世の中にしたい。そのためには、私たちがしっかり考えなければならない」ということです。１～９年生までが共に学ぶ本校。私が伝えたい思いを全員が理解できるのは難しいかも知れませんが、何か感じ取ってほしいと思っています。

「いのちの大切さ」ついて考える道徳の授業を公開しました！

６月４日は、保護者や地域の方々と共に「いのちの大切さ」について共に考える日として、一斉道徳の授業、ふれあい給食、校内弁論大会を実施しました。４校時に公開した道徳の授業では、発達段階に応じて「いのちの大切さ」について共に考える授業を全学年で公開しました。（左・下写真）　道徳は、小学校では昨年度から、中学校は今年度から主に検定教科書を使っての「教科」となりました。佐世保市では、６月を「いのちを見つめる月間」として、道徳についても「いのちの大切さ」を共に考えます。写真や映像をふんだんに使い、分かりやすさに心がけた授業により、子供たちも真剣に考えることができていました。地域の方々を招いての「ふれあい給食」、後期課程生徒の弁論大会の様子は次号でお知らせします。

児童生徒総会が開催されました！

本年度の児童生徒総会がランチルームで、児童生徒全員・全職員が参加して開かれました。児童生徒会執行部会の進行のもと、議題について各学級の意見を発表しながら協議をしていきました。低学年は、難しい説明もありましたが、事前指導や担任の先生が分かりやすく説明して、一生懸命参加していました。こういう機会も経験も義務教育学校ならではです。やり方を工夫して、大切にしていきます。

歯科保健絵画・ポスターコンクールにおいて、倖永さんの作品が見事「特別賞」に選ばれ、表彰式がありました。緊張混じりのいい笑顔です。おめでとう！